

- | | |
|--|----|
| 1. 天(上天)を敬うことで、古代中国の政治(まつりごと)の土台。 | 1 |
| 2. 王朝の交替は天命による。戦国時代の儒家、孟子の言葉。書き下し:「姓(王朝)の易(か)はるは、命(天命)の革(あらた)まるなり」 | 2 |
| 3. 祖先を崇(あが)めるで、古代中国の道徳の土台。 | 3 |
| 4. 敬天と崇祖の在り方。社会秩序の原理・法則。 | 4 |
| 5. 国家の法や制度。原義:行いを慎ませる礼儀と心を和らげる音楽 | 5 |
| 6. PERSON B.C. 6・5世紀、中国の儒家の開祖。 | 6 |
| 7. 語義:学に志す cf. 15歳(立志式) | 7 |
| 8. 語義:ひとりだちする cf. 30歳 | 8 |
| 9. 語義:何にも惑わされない cf. 40歳 | 9 |
| 10. 語義:天命を知る cf. 50歳 | 10 |
| 11. BOOK 孔子の死後、弟子が編集した孔子の言行録。 | 11 |
| 12. 儒家の説く人間愛。孝(親子愛)と悌(兄弟愛)が出発点。関連語:エロース、フィーリア、アガペー、慈悲 | 12 |
| 13. 儒家の説く人間愛の具体的あらわれ。まごころと思いやり。 | 13 |
| 14. 仁の一側面で、自分を偽らない誠実さ(まごころ)。 | 14 |
| 15. 仁の一側面で、自分のように他者を思いやる心。関連語:イエスの黄金律「人にして欲しいことを、人にほどこせ」 | 15 |
| 16. 自己を抑えて、他者ととともに人として生きるために行うべき礼に従うこと。よって仁は礼の背骨(バックボーン)であるということ。 | 16 |
| 17. 儒家の理想とする人間像(義務に目覚める人)。仁の人。 | 17 |
| 18. 儒家が否定する人間像(利益に目がくらむ人)。 | 18 |
| 19. 儒家の追求する社会的責任(いわゆる「社会力」とその目的。書き下し:「身を修め、家を斉(ととの)え、国を治め、天下を平らかにする」 | 19 |
| 20. 治者が被治者を道徳的に感化し、自覚を促進すること。「これを導くに徳を以てし、これを斉(ととの)うるに礼を以てすれば、恥ありて且つ格(ただ)し」。 | 20 |
| 21. 治者が被治者を法で縛ること。「これを導くに政を以てし、これを斉(ととの)うるに刑を以てすれば、民免れて恥ずること無し」。 | 21 |
| 22. 『論語』『孟子』『大学』『中庸』の四つの儒家の経典。重要視されるのは、南宋で朱子学(宋学)が成立してから。 | 22 |
| 23. 『詩経』『書経』『易経』『春秋』『礼記』の五つの儒家の経典。 | 23 |

T.Q. 「孔子の説く仁と礼の関係とは何か？」

T.A.

孔子は「克己復礼こそが仁」だとした。人と人の間に生まれる思いやりが仁であり、人と人が生きていく中で個を抑え、社会のために行動することを礼とした。孔子は、個を社会の中で生きる存在だととらえ、個が良くなることで社会が良くなる(「修身齐家治国平天下」とした)。